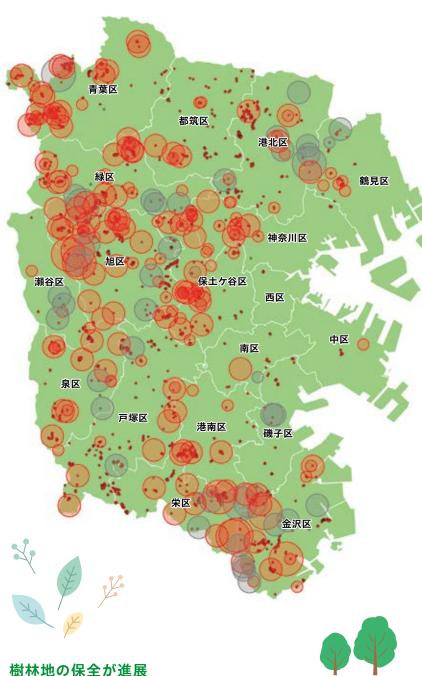
3.横浜みどりアップ計画の主な実績

柱1

市民とともに 次世代につなぐ森を育む





特別緑地保全地区・ 近郊緑地特別保全地区

計画開始以降(2009~2022)







1ha未満

1ha以上10ha未満 10ha以上

計画開始前(~2008)







1ha未満 1ha以上10ha未満 10ha以上

源流の森保存地区・緑地保存地区・ 市民の森・ふれあいの樹林

 $(2009 \sim 2022)$

計画開始以降

計画開始前 (~ 2008)



制度指定した樹林地(保土ケ谷区)



制度指定した樹林地(泉区)

計画開始以降の14年間で新たに1,050haの樹林地を緑地保全制度に より指定しました。計画開始前は40年間で861ha指定しており、3倍以上の スピードで保全を進めました。



市民の森が増加

土地所有者のご協力により、計画開始以降16か所を「市民の森」として開園し、自然に親しみ憩える場が増えました。また、ガイドマップを作成し、気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを進めました。

市民の森 ガイドマップ

Q





長津田宿市民の森(緑区)





市内大学と連携したイベント(緑区)



森の中のプレイパーク(瀬谷区)

森に関わる多様な機会を創出

小学校の自然体験教室のコーディネートや自然観察会の講座開催など、森についての理解を深める取組を進めました。また、「よこはま森の楽校」や「森の中のプレイパーク」などの様々なイベントを、市内大学や関係団体などと連携しながら実施し、森に関わるきっかけづくりを進めました。

柱2 市民が身近に 農を感じる場をつくる

市内の水田面積の約9割を保全

土地所有者が水田を維持できるよう支援し、横浜に残る貴重な水田景観を保全しました。







保全された水田(戸塚区)

農とのふれあいの場や機会の増加

野菜の収穫などを気軽に体験できる収穫体験農園や、自由に栽培・収穫ができる認定市民菜園など、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設の支援や整備を進め、計画開始以降310か所の農園が開設されました。また、子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座を開催しました。



農体験教室(青葉区)

家族で学ぶ農体験講座(保土ケ谷区)

地産地消にふれる機会を拡大

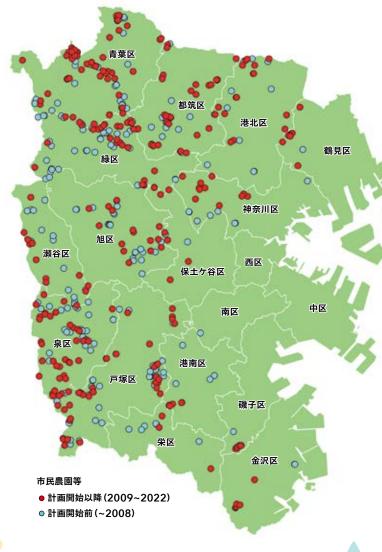
青空市やマルシェの開催等を支援し、身近な場所で楽 しみながら農畜産物を購入できる場が増えました。





みなとみらい農家朝市(西区)

横浜北仲マルシェ (中区)



市民が実感できる 柱3 緑や花をつくる



市民や企業と連携した緑のまちづくりが進展

地域が主体となり地区ならではの緑を創出する「地域緑のまちづくり」は、計画開始以降14年間で67か所展開された ほか、各区ではオープンガーデンなどの地域に根差した緑や花の楽しみづくりを推進しました。





花と緑に関するウォーキングイベント(都筑区)



地域緑のまちづくり(港北区)



オープンガーデン(瀬谷区)



球根ミックス花壇(旭区)



地域緑のまちづくり(磯子区)

これまでの取組の実績は、 市ホームページに 掲載しています。

みどりアップ 実績

